

# 第33回全国アビリンピック in 長野

第33回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）が10月20日から3日間に渡り長野県長野市にて開催されました。今回の大会には、全23種目に47都道府県から300名を超える選手が参加、富士電機フロンティアからも2名の選手が出場、日頃培った技能を互いに競い合いました。

東京都代表としてオフィスアシスタント部門へ出場した和地 智明さん（東京事業所）は激戦の末、銀賞を獲得。神奈川県代表として、パソコンデータ入力部門へ出場した原 秀平さん（大崎事業所）も参加25名の中、大健闘されました。

## 富士電機フロンティア



**銀賞  
獲得!**

### アビリンピック とは・・・

満15歳以上の障害のある方々による技能競技全国大会（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が実施）。優勝者は概ね4年に一度開かれる国際アビリンピックの代表候補となります。障害者の職業能力に対する社会的理解を深め、雇用を促すことを主な目的としています。

今回の長野県大会は、富士電機エフテックの3選手が「抜き型」に出場した第50回技能五輪全国大会と同時期に開催されました。

←公式ロゴマーク



詳しくは、富士電機フロンティア発行の「Go!Go!フロンティア」第6号をご覧ください。

## アジア各国からのご視察

12月3日、厚生労働省からの委託にて中央職業能力開発協会が実施しています「技能評価技法研修」プログラムに参加しているアジア各国からのお客様のご視察を受入れました。

インド・カンボジア・ベトナム・ラオス各国の行政機関（職業教育訓練局、技能開発雇用局等）団体組織から派遣された28名の方々と、技能五輪への取り組み、技能研修所などを熱心にご視察されていました。



研修の目的は、自国の技能評価方法を改善することにより、より効果的な人材育成を目指すことにあり、評価するための試験基準や、課題作成方法、教育期間における評価時期の考え方、個人の特性を活かすためのコース選択の仕方など見学中にも多くの質問を頂き、アジアの意気込みを感じ、これからの発展を期待されるご視察でした。

